

2025年高麗博物館企画展

関連講演会・イベント一覧

会場▶高麗博物館(オンライン併用) | 時間▶14:00~16:00 | 参加費▶1,000円

*ご参加には予約が必要です。予約方法はチラシ右下をご覧ください。

なぜ「朝鮮人」が戦犯になったのか
戦後80年を迎えてなお続く植民地主義を問う



5月24日(土) 内海愛子 (恵泉女学園大学名誉教授・同進会を応援する会代表)

戦争裁判は植民地支配をどう裁いたのか ～朝鮮人 BC 級戦犯から考える～

1970年代から韓国・朝鮮人BC級戦犯者問題に取り組み、運動支援・研究の両面において被害当事者とともに歩んできた。著書に『朝鮮人BC級戦犯の記録』(1982年勁草書房、2015年岩波現代文庫)、『キムはなぜ裁かれたのか——朝鮮人BC級戦犯の軌跡』(2008年朝日選書) ほか。



6月14日(土) 小塩海平 (東京農業大学教授・農学博士)

朝鮮人捕虜監視員が動員された 日蘭戦争を考える

1990年代より韓国・朝鮮人BC級戦犯者支援運動に加わり、元戦犯者やその家族、捕虜・抑留者との交流と研究を続ける。著書に『BC級戦犯にされたキリスト者』(2022年いのちのこば社)、共訳『忘れられた人びと——日本軍に抑留された女たち・子どもたち』(1998年梨の木舎) ほか。

7月12日(土) 金井真紀 (文筆家・イラストレーター) × 姜秀一 (李鶴来さん甥)
コーディネーター 大山美佐子 (同進会を応援する会世話人)

元戦犯者・李鶴来さんが訴え続けたこと

金井真紀: 2021年に出版した安田浩一氏との共著『戦争とバスタオル』(亜紀書房)のなかで、元BC級戦犯・李鶴来さん(同進会元会長・2021年逝去)について紹介する。

姜秀一: 元BC級戦犯・李鶴来さんの甥として、関西を中心に活動。李鶴来さんの人となりから、深く影響を受けてきた。

大山美佐子: 20代より韓国・朝鮮人BC級戦犯者支援に関わり、李鶴来さんの自伝『韓国人元BC級戦犯の訴え——何のために、誰のために』(2016年梨の木舎)の編集を担う。

9月6日(土) 田口裕史 (同進会を応援する会世話人)

国家補償等請求裁判、立法運動、 そして現在に問いかけるもの

現在活動中の「同進会を応援する会」(2006年発足)の前身となる「日本の戦争責任を肩代わりさせられた韓国・朝鮮人BC級戦犯を支える会」(1991年発足)の事務局代表をつとめる。著書に『戦後世代の戦争責任』(1996年樹花舎)。

9月20日(土) 鎌倉英也 (NHK エグゼクティブ・ディレクター)

趙文相と李鶴来 不条理と差別の現在

NHKスペシャル『チョウムンサンの遺書——シンガポール・BC級戦犯裁判』(1991年)ディレクター。以降、現在まで韓国・朝鮮人BC級戦犯者問題取材。著書に『隠された「戦争」——「ノモンハン事件」の裏側』(2020年創論社)、共著『アレクシエーヴィチとの対話』(2021年岩波書店) ほか。

要予約

お申し込みは
当会ホームページ、
メール、電話、FAX 等
にてお願いします。



◎——その他の関連企画

5月10日(土) 10:00~13:00

春のフィールドワーク「朝鮮ゆかりの歴史散歩」

池上本門寺にBC級戦犯慰霊碑(写真右)を訪ねる。

7月26日(土) 14:00~16:00

ワークショップ「李鶴来さんの言葉と出会う」

私の“response + ability”をめぐる対話

NPO法人ホロコースト教育資料センター

日時未定

ギャラリートーク

同進会より朴来洪さん(元BC級戦犯者・朴昌浩さんご子息)、畠谷吉秋さん(元BC級戦犯者・金完根さんご子息) ほかを予定。



市民がつくる日本・コリア交流の歴史博物館

高麗博物館
고려박물관 KOREA MUSEUM